



595号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール rouren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



全国団結で勝ち取ろう！ 要求に沿った賃金引上げ!!



19 検数春闘

現時点までの進捗状況

2月12日 第1回交渉

春闘要求書を両協会に提出することにも要求趣旨説明をおこなった。趣旨説明では、安定した生活基盤の維持に向けた賃金引上げ、人員確保、長時間労働解消、人材育成強化、産別協定履行などについて強調した。

2月21日 第2回交渉

言頭両協会に対して2月15日に中央集約したスト権(8項目)において95%以上の高率で確立したことを通知した。その後「基礎数字」の報告を求めるとともに、全国各支部・事業所・職場にて「職場懇談会」を今春闘期間内において開催するように申し入れた。交渉終了後、全国港湾中央指示のもと「2月28日(木) 始業時からの24時間ストを通告」した。

2月25日 全国港湾常任中執・スト延期

2月25日に開催した全国港湾常任中央執行委員会を緊急開催し、船社の事前協議違反について労使協議を重ねてきた結果、日港協が「今後、事前協議制度の厳格運用に努める」と約束したことから2月28日の24時間ストの延期を確認した。

3月11日 第3回交渉

組合は18年度事業収支実績見込み、長時間労働対策、年休消化対策、自然災害対策などについての報告を求めた。両協会ともに18年度収支実績見込みについては、精査中であり現段階では答えられる状況にないとし、長時間労働対策は段階的に時間外労働の減少に努めてきたとした。さらに、年休取得状況については、新年度から年休取得が法制化されることから時期を見ながら計画的に対応していくこととし、自然災害対策については各支部安全衛生委員会の中で対策を強化していくこととした。

3月19日 第4回交渉

両協会の収支状況と事業計画、有額回答に向けた考え方を求めた。

両協会ともに収支状況と計画については、内部精査が済んでいないとして具体的な説明は示さなかった。有額回答への考え方については、全日検は「昨年を基本に構築することし、日検は「定昇十一律を基本」に回答を構築していくとした。

組合は、他産業におけるペーパー引上げ額の状況や春闘要求への期待の高まり、合せて組合員のモチベーションを高めるためにも、要求に沿った回答構築に努めることにも、第5回交渉では、両協会の主体性で誠実に有額回答を提示するよう求めた。

3月27日 第5回交渉

両協会に対し有額回答提示を求めた。両協会は中央港湾回交の進捗や方向性が一定見えてこない状況の中で具体的な回答を披露できる状況ではないとの考え方を示し、理解を求めた。

組合は、当初有額回答指定日を3月20日(水)としたが、港湾回交との関係で一週間先送りしてきた。こうした状況のもとで、本日の回答日に具体的な有額回答が示されなかったことに不満を表明することも、両協会の主体性と春闘解決に向けての努力不足を言及した。その後、全国港湾中央港湾回交の決裂に伴う3月31日(日)以降の毎日曜日の始業時より翌日の始業時までの間、休務権を行使する旨を通告した。

今後交渉は産別交渉次第か・・・

今後交渉については、3月29日に開催する中央港湾回交での推移を見だすうえで設定していくことを確認しました。しかしながら、産別交渉での日港協の対応如何によつては、31日以降の毎日曜日にスト行動が組まれる可能性もあり、予断を許さない状況になっています。こうした産別交渉の状況を踏まえながら、検数労使も情勢を充分把握しながら春闘交渉をすすめていきます。

国民春闘共闘情報

単純平均 5,360円 加重平均 5,806円

回答引き出し状況

3月22日時点、国民春闘共闘に加盟する797組合の内、273組合が回答を引き出しています。273組合の内「定昇確保」などの言葉による回答を得た組合は62組合で、金額を含めた有額回答を得た組合は211組合となっています。また、回答引き出し組合の30組合が上積み回答を引き出し、妥結となっています。

回答内容

回答を引き出した211組合での単純平均(一組合あたりの平均)は5,360円(前年比171円減)。加重平均(組合員一人あたりの平均)は5,806円(前年比123円減)となっています。特に出版、金属情報機器、民間放送局、地方マスコミ関係の組合では1万円以上の賃上げを勝ち取っています。全体としては、昨年実績を下回る厳しい回答状況となっていますが、第二次回答と合わせて初任給の引上げなども含め交渉を継続させているとの情報が入っています。

投票に行って要求を実現しよう

4月に統一地方選挙がおこなわれます。

前半の7日には県知事、県会議員、政令市の市長や市会議員の選挙。後半の21日は一般市町の首長、議員の選挙です。

検数労連では、労働者の要求を実現する選挙として「選挙に行こう、投票所に必ず行こう」を中心に取り組みを呼びかけています。

投票日当日に選挙に行けない組合員は、期日前投票制度を利用し、最寄の投票所で投票を済ませましょう。

私たちの要求を反映させる「候補者」に一票を

いまほど私たちの生活と暮らし、働き方が政治によって脅かされているときはありません。私たちは、いのちとくらし、平和を脅かす安倍政権の政策に対峙する国民的反撃を展開させなければ「日本の将来に未来はない」との共通認識に立つ必要があります。その意味では、平和で安心して暮らせる街づくり、改憲阻止など私たちの要求を県政、市政に反映してくれる「候補者」への一票をお願いします。